

指定管理施設モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	平戸市平戸オランダ商館1639年築造倉庫
	所在地	平戸市大久保町2477番地
	所管課	文化交流課
指定管理者	名称	公益財団法人 松浦史料博物館
	所在地	平戸市鏡川町12番地
	業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平戸オランダ商館の施設及び設備の維持管理 ・平戸オランダ商館の施設等の利用に供する業務 ・平戸オランダ商館の利用料金に関する業務
ホームページURL		https://hirado-shoukan.jp
指定期間		令和3年4月1日から令和7年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度
開館等日数(日)	308	362	360	362	
利用者数(人)	13,019	23,191	26,723	21,978	
前年度比(人)	29,213	13,019	23,191	26,723	
前年度比(%)	45%	178%	115%	82%	
利用料金(千円)	2,882	5,542	6,862	5,619	
前年度比(千円)	6,579	2,882	5,542	6,862	
前年度比(%)	44%	192%	124%	82%	

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

単位:千円

項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度
収入	指定管理料	23,620	19,052	19,291	19,000	
	料金収入	2,882	5,542	6,863	5,619	
	自主事業収入	1,677	2,902	4,331	5,585	
	その他の収入	3,947	12,478	5,533	4,104	
	計	32,126	39,974	36,018	34,308	
支出	人件費	18,879	16,629	17,152	17,312	
	維持管理経費	2,772	2,581	2,234	2,781	
	自主事業経費	3,299	15,888	13,293	11,266	
	その他の経費	5,907	3,925	4,554	3,855	
	計	30,857	39,023	37,233	35,214	
収支(収入-支出)		1,269	951	△ 1,215	△ 906	

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)

1階ロビーにアンケート用紙と回収箱を設置し、入館者に自由に記載してもらう方法を採用している。コロナ禍を挟んで中断していたが、昨年度から徐々に再開し、今年度後半から常設とした。

利用者なら寄せられた意見・苦情及び対応状況

入館料に対応するクレジットカード決済等が出来なかったことから、お客様からの利用希望の声が寄せられていた。キャッシュレス決済が出来るレジを導入し、今では来場者の半数以上がキャッシュレスで対応している。

利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)

5回の企画展を実施した。会場利用が増加し、「まちあかりミーティング(平戸まちづくり運営協議会)」「ピンクリボン点灯式(ピンクリボンひらどAIAIAI)」「デザインのちから(平戸中学校)」「ガストロノミーin商館(平戸ガストロノミー実行委員会)」などが実施された。またアンサリー氏のコンサートでは非常に多くの参加者を得た。

5 経費削減のための取組

具体的な取り組み内容

ペーパーレス化を推進し印刷物の削減や日常的な節電を実施した。
敷地内除草作業は業者に委託せずスタッフで行い経費削減につとめている。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価

一部変更はあったが計画通り5回の企画展を実施し、また数多くの催事を実施した。平戸中学校と連携した企画展など、学校教育との連携をさらに深めることができた。また、オランダ文化庁及び駐日オランダ大使館とも連携を行いヘリテージネットワークの事業推進やLGBTQ+や現代アートをテーマとした事業も積極的に行うことが出来た。今後もさらなる連携強化を進める。また入館促進のため個人の旅行者への広報に努める。

7 所管課による総合評価(太枠にS~Bの3段階で評価を記入)

市民サービスの向上

- ・入口に平戸市の観光アンケートを設置している。
- ・企画展「平戸銀線細工とフィリオグラナ」において、展示場にアンケートを設置し、来場者アンケートを実施した。
- ・「南蛮菓子ワークショップ」において参加者アンケートを実施した。

経費削減の取組

昨年に引き続き、業者に委託していた清掃作業日を減らした体制を継続し、敷地内除草作業は業者に委託せずスタッフで行い経費削減に努めている。

業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価

利用者の意見や要望を業務に反映するための利用者アンケートの収集に取り組んでもらった。
今後も利用者の意見や要望を徹取しながら業務改善に取り組むとともに、引き続き所管課と連絡調整しながらより良い管理運営に努めてもらいたい。

総合評価

A

※評価基準

- S: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等より優れた指定管理業務を行っている。
- A: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B: モニタリングチェックシートにおいて、「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。